※令和４年度以降入学生用

学校番号	２２０１

令和５年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２	年次	２～４
使用教科書	美術Ⅰ（光村図書）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

生徒が興味、関心や個性を生かして主体的に取り組み、美術のよさや美しさを深く味わえるように研究していきたいと思います。

２　学習の到達目標

課題作品制作の活動を通じて、美術にまつわる知識と技術を身につけ、自ら能動的に考え、判断する力をはぐくむことで自分なりの美意識を構築する。また、自身のこれからの生活の中で日常的に表現を行い、楽しんでいく姿勢を形作る。

① 基礎的な作業や作品鑑賞を通じ、技法や道具の使い方などの基礎的な技能を身につける。
② 自らの創意工夫をもって作品を形作り、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深める。
③ クラスメイトや有名作品を鑑賞し、教員との対話などを通して自分なりの美意識や理解をもって、能動的に課題に取り組む姿勢を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・美術における伝統や文化を学び、基礎的な知識や技能を身につける。	・授業で学んだことを基に考え、作品、発表の場で表現する。 ・芸術の時間に学んだことを生活の中でどのように取り入れていくことができるのか、創意工夫している。	・美術の鑑賞などを通じ、芸術の美意識や理解を深め、感想、レポートをまとめることができる。 ・各課題に主体的に表現する学習活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期 4月 5月 6月	図形デッサン	図形を観察して画面に写し取る。	a:鉛筆を正しく使う。 b:比較して陰影を置けている。 c:積極的に作業を行う。	作品提出	作品提出	授業態度
	名画模写	歴史的な名画の模写を色彩で行う。	a:対象作品について深く知る。 b:自ら判断して色彩を作る。 c:積極的に作業を行う。	作品提出	作品提出	授業態度
前期 7月 8月	自由絵画	最初のパネル作りから行い、自らの発想、工夫で画面を作る。	a:適切な材料、用法で制作する。 b:画面と一対一で向き合う。 c:積極的に作業を行う。	作品提出	作品提出	授業態度
後期 9月 10月 11月	タッチステンド	絵の具以外の色の表現に興味を持ち、色彩や構成、構図、色がどのような効果を生むかを考え工夫し、道具の正しい使い方を知る。	a:カッターを適切に使用する。 b:見栄えのする画面を自ら作る。 c:積極的に作業を行う。	作品提出	作品提出	授業態度
後期 12月 1月 2月	石膏版画	紙以外の素材への描画方法に触れ、新たな表現を知る。	a:各段階の作業を丁寧に行う。 b:完成を意識しつつ作業する。 c:積極的に作業を行う。	作品提出	作品提出	授業態度
	陶芸	粘土の特性、歴史を知り、日常で使用する物を自ら制作することにより身近な美術を感じる。	a:準備片付けを丁寧に行う。 b:出来上がりを立体的にイメージする。 c:こだわりのある形を作り上げる。	作品提出	作品提出	授業態度

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度